

「課題名：膵癌術後における DPP4 阻害薬による  
血糖コントロール状況と安全性に関する調査」について

○ 研究の意義・目的

膵切除後の膵性糖尿病に対する治療としてはインスリン療法が有効ですが、インスリン製剤に対する心理的な患者負担は大きく、また重症低血糖を起こしやすい状態であり、低血糖が遷延化する可能性があります。そのため患者負担の小さい有効且つ安全な薬剤の選択が望まれますが、まだはっきりとその薬剤は示されていません。今回、その薬剤の選択肢を示す目的でこの研究を計画しました。

○ 研究対象者

2013年1月1日から2018年12月31日までに、広島大学病院消化器外科を受診し膵切除術を施行した膵癌患者を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。  
カルテから転記する内容は患者基本情報（身長、体重など）、血液検査（HbA1c、腎機能・肝機能検査値など）、治療内容です。  
（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～2023年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 上代 大地（担当者）